

- 問1 桓武天皇は、朝廷の支配力を高めるために東北地方へ大規模な軍を派遣しました。このとき、軍の総大将として任命され、蝦夷（えみし）の抵抗を抑えて現在の岩手県に胆沢城を築くなどの成果を上げた人物と、その官職名の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2018年 富山県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------|-----------------|---------------|-------------------|
| 1. 中大兄皇子 — 太政大臣 | 2. 足利尊氏 — 征夷大將軍 | 3. 小野妹子 — 遣隋使 | 4. 坂上田村麻呂 — 征夷大將軍 |
|-----------------|-----------------|---------------|-------------------|
-
- 問2 12世紀の東北地方において、奥州藤原氏が中尊寺金色堂に代表されるような壮麗な仏教文化を築くことができた背景として、最も適切な説明はどれか。（2022年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 鎌倉幕府から地頭として任命され、東北全域の徴税権を公式に認められたことで、安定的な財源を確保できたから。 | 2. 東北地方で産出された豊富な金（きん）や名馬の交易を通じて、都の文化を導入できるほどの強大な経済力を蓄えていたから。 | 3. 平氏との親密な関係を通じて、都の最新の建築技術と、瀬戸内海の制海権を背景とした物流網を掌握していたから。 | 4. 日宋貿易の拠点として港湾を整備し、宋から輸入した大量の貨幣と高級な陶磁器を独占的に流通させていたから。 |
|---|--|---|--|
-
- 問3 奥州藤原氏が平泉に中尊寺金色堂を建立した背景や目的について、当時の社会情勢を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。（2024年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 前九年の役や後三年の役といった激しい戦乱の犠牲者を弔い、仏教の力によって平和な理想郷である極楽浄土を現世に表現しようとした。 | 2. 鎌倉を拠点とする源頼朝の軍事力に対抗するため、堅固な防壁を備えた軍事要塞として金色堂を機能させようとした。 | 3. 東北地方に独自の宗教を広めるため、京都の平等院鳳凰堂を模倣せず、金箔を使用しない質素な建物を目指した。 | 4. 太宰府を通じて行われていた大陸貿易の利権を独占し、富を誇示することで京都の朝廷を政治的に制圧しようとした。 |
|---|--|--|--|
-
- 問4 西暦804年、空海が遣唐使とともに唐へ渡った頃、日本国内で行われていた政策や出来事として正しいものはどれか。（2017年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 聖徳太子が冠位十二階を定め、家柄にとらわれない人材登用を行った | 2. 承久の乱ののち、朝廷を監視するために京都に六波羅探題が設置された | 3. 坂上田村麻呂が征夷大將軍として東北地方に派遣され、支配地域を広げた | 4. 大名を厳しく統制するために武家諸法度が制定され、違反者は処分された |
|------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
-
- 問5 遣唐使の停止を建議した菅原道真は、その後の政争に敗れ、九州にある外交や国防の拠点へと左遷されました。この道真が最期を迎えた場所を何と呼びますか。（2020年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 多賀城 | 2. 大宰府 | 3. 胆沢城 | 4. 平城京 |
|--------|--------|--------|--------|
-
- 問6 10世紀の平安時代において、それまでの唐の文化の影響を強く受けた段階から、日本の風土や生活、日本人の感性に合わせた独自の特色を持つ文化が発展しました。この文化を何と呼びますか。（2022年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|-----------|
| 1. 天平文化 | 2. 国風文化 | 3. 鎌倉文化 | 4. 安土桃山文化 |
|---------|---------|---------|-----------|
-
- 問7 平安時代中期、藤原氏が自身の娘を天皇の妃（きさき）とし、その間に生まれた子が天皇になると、幼少期には摂政、成人後は関白という職について政治の実権を握りました。このような政治体制を何といいいますか。（2020年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|---------|-------|---------|
| 1. 親政 | 2. 執権政治 | 3. 院政 | 4. 摂関政治 |
|-------|---------|-------|---------|
-
- 問8 平安時代において、自分の娘を次々と天皇のきさきにすることで有力な親戚となり、摂政や関白として政治の実権を握る「摂関政治」の全盛期を築いた人物は誰ですか。（2019年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 藤原道長 | 2. 西郷隆盛 | 3. 足利義政 | 4. 徳川家光 |
|---------|---------|---------|---------|
-
- 問9 桓武天皇が実施した政策について述べた文章において、当時の東北地方に対する動向として正しいものはどれですか。（2026年 滋賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 征夷大將軍を任命して大軍を派遣し、蝦夷と呼ばれた人々の居住地を制圧して支配域を拡大した。 | 2. 東北地方に金が豊富にあることが分かったため、奥州藤原氏に中尊寺金色堂を建立させて管理を任せた。 | 3. 独自の勢力を保っていた蝦夷と和平を結び、多賀城を拠点とした自由な交易を奨励した。 | 4. 唐から帰国した最澄や空海を東北へ派遣し、仏教の力で現地の有力者を教化しようとした。 |
|---|--|---|--|
-
- 問10 平安時代、それまでの大陸文化の影響を強く受けた文化から、日本の風土や生活に合わせた独自の文化が発達した背景として、最も適切な説明はどれか。（2020年 埼玉県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--------------------------------------|--|--|
| 1. 菅原道真の建議によって遣唐使が廃止され、大陸との公的な交流が途絶えたこと | 2. 足利義満が金閣を建てたことで、公家文化と武家文化が融合し始めたこと | 3. 平清盛によって日宋貿易が盛んになり、宋の新しい文化が庶民にまで広まったこと | 4. 鉄砲の伝来やキリスト教の布教とともに、ヨーロッパの新しい知識が伝わったこと |
|---|--------------------------------------|--|--|
-
- 問11 平安時代後期、白河天皇は天皇の位を譲って上皇となった後も、それまで有力貴族が独占していた政治上の実権を自らの手に取り戻そうとしました。このように、上皇が摂政や関白の力を抑えて直接政治を行う体制を何といいいますか。（2024年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|-------|
| 1. 律令政治 | 2. 武家政治 | 3. 摂関政治 | 4. 院政 |
|---------|---------|---------|-------|
-
- 問12 10世紀の平安時代中期、関東地方で平将門が乱を起こしたのとほぼ同時期に、瀬戸内海の高僧を率いて朝廷の政治に対する反乱を起こした人物は誰ですか。（2019年 香川県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|---------|---------|--------|
| 1. 源義朝 | 2. 藤原純友 | 3. 北条泰時 | 4. 平将門 |
|--------|---------|---------|--------|
-
- 問13 平安時代末期に白河上皇によって始められた「院政」という政治体制の説明として、当時の政治の仕組みの変化をふまえた記述として最も適切なものはどれですか。（2018年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 地方で成長した武士が、京都の朝廷から政治権力を完全に奪い、鎌倉に独自の政府を組織した。 | 2. 坂上田村麻呂が征夷大將軍に任命され、東北地方を平定することで天皇による全国支配を完成させた。 | 3. 天皇の母方の親戚である外戚が、天皇に代わって全ての政務を決定する摂関政治の形式をより強化した。 | 4. 藤原氏が摂政や関白として権力を独占する仕組みを抑えるため、天皇の位を退いた上皇が政治の主導権を握った。 |
|--|---|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 坂上田村麻呂 ― 征夷大將軍	桓武天皇は東北地方への勢力拡大を重視し、軍事的な成功を収めるために有能な武官である坂上田村麻呂を「征夷大將軍」に任命しました。彼は東北地方へ進撃してアテルイなどの蝦夷の指導者を降伏させ、胆沢城を拠点として朝廷の支配地域を北へと大きく広げました。他の選択肢にある足利尊氏は鎌倉幕府を滅ぼした後の人物であり、時代が異なります。
問2	答え 2 東北地方で産出された豊富な金（きん）や名馬の交易を通じて、都の文化を導入できるほどの強大な経済力を蓄えていたから。	奥州藤原氏の繁栄の土台となったのは、東北地方で採掘された金と、名馬の産地としての利点です。これらを京都へ送ることで、当時の都の最新文化や高度な技術を平泉へ取り入れることが可能になりました。金色堂の装飾に使われている螺鈿（らでん）の材料である夜光貝が南方の海から運ばれていることも、広範な交易網を裏付けています。
問3	答え 1 前九年の役や後三年の役といった激しい戦乱の犠牲者を弔い、仏教の力によって平和な理想郷である極楽浄土を現世に表現しようとした。	奥州藤原氏の初代清衡は、一族が巻き込まれた凄惨な戦乱を経験したことから、敵味方の区別なく戦死者の魂を慰め、争いのない平和な世界を願って中尊寺を建立しました。金色堂はその中心的な建物で、浄土教の思想に基づき、金箔や螺鈿細工を用いて極楽浄土の光景を具体的に再現しようとしたものです。
問4	答え 3 坂上田村麻呂が征夷大將軍として東北地方に派遣され、支配地域を広げた	空海が唐に渡ったのは平安時代の初期である。この時期、桓武天皇の命を受けた坂上田村麻呂は、征夷大將軍として東北地方へ遠征し、胆沢城を築くなどして蝦夷（えみし）の抵抗を抑え、朝廷の支配地域を拡大した。他の選択肢について、冠位十二階は飛鳥時代、六波羅探題は鎌倉時代、武家諸法度は江戸時代の出来事であり、時期が異なる。
問5	答え 2 大宰府	現在の福岡県に位置するこの場所は、古くから大陸に対する外交や防衛の窓口として重要な役割を担っていました。菅原道真は藤原氏との政争によってこの地へ送られ、京へ戻ることなくこの地で没しました。後に、学問の神様として天満宮に祀られることとなります。
問6	答え 2 国風文化	894年に遣唐使の派遣が停止されたことを一つのきっかけとして、それまで取り入れてきた大陸文化が日本の自然や生活様式に溶け込み、独自の発展を遂げました。この時期の貴族を中心とした優雅な文化を国風文化と呼びます。
問7	答え 4 摂関政治	摂政は天皇が幼いときや女性であるときに代わって政務を行い、関白は成人した天皇を補佐して政務を司る役職です。藤原氏はこれら二つの官職を独占することで、天皇に代わって政治を主導しました。この仕組みは藤原道長・頼通の親子が権勢を振るった時期に全盛期を迎えました。
問8	答え 1 藤原道長	平安時代の中期、藤原氏は娘を天皇の后にすることで、その間に生まれた子を次の天皇に立て、自らは外祖父（母方の祖父）として政治を動かしました。道長はその手法で最大の権力を握り、「この世をば我が世とぞ思ふ…」という歌を詠んだことでも知られる、摂関政治を象徴する人物です。
問9	答え 1 征夷大將軍を任命して大軍を派遣し、蝦夷と呼ばれた人々の居住地を制圧して支配域を拡大した。	当時の朝廷は、支配が及んでいなかった東北地方北部への勢力拡大を目指していました。桓武天皇は坂上田村麻呂を派遣して軍事的に蝦夷を制圧し、胆沢城を築いて鎮守府をそこに移すなど、政治・軍事の両面で支配を固めました。奥州藤原氏が登場するのは平安時代後期であり、この時期の状況とは一致しません。
問10	答え 1 菅原道真の建議によって遣唐使が廃止され、大陸との公的な交流が途絶えたこと	894年に菅原道真の建議によって遣唐使が廃止されると、それまで盛んだった中国（唐）の文化を日本の風土や感性に消化・吸収させる動きが強まりました。これにより、貴族を中心とした日本独自の「国風文化」が成立しました。
問11	答え 4 院政	白河天皇は1086年に幼い天皇に位を譲った後、自らは上皇として政治の実権を握りました。これは、藤原氏が代々務めてきた摂政や関白といった官職の枠組みから離れることで、藤原氏の影響力を弱め、皇室主導の政治を行うことが目的でした。
問12	答え 2 藤原純友	10世紀前半、地方政治の乱れに乗じて各地で武士の反乱が相次ぎました。関東での平将門の乱に対し、瀬戸内海で反乱を起こしたのが藤原純友です。これら二つの動乱を合わせて「承平・天慶の乱」と呼びます。当初は朝廷の官吏（伊予掾）であった純友が、瀬戸内海の手海賊を組織して反乱へ至った過程は、地方における武士の台頭を象徴しています。
問13	答え 4 藤原氏が摂政や関白として権力を独占する仕組みを抑えるため、天皇の位を退いた上皇が政治の主導権を握った。	院政が始まった背景には、長年続いた藤原氏による摂関政治を打破し、天皇を中心とした皇室自らが政治を執り行う目的がありました。上皇は摂政や関白の役職を介さずに、自身の近臣や独自の軍勢力を背景に政治を運営しました。選択肢にある坂上田村麻呂は平安時代初期の人物であり、院政の時代背景とは異なります。

- 問1 10世紀初めの戸籍の記録では、成人男性の登録数が女性に比べて極端に少なくなっている現象が見られます。例えば、当時の阿波国の戸籍において、ある一族のうち男性は全年齢で6名（11歳から40歳は0名）であるのに対し、女性は全年齢で25名（21歳以上も多数）と記録されているような事例です。このような不自然な男女比の不均衡が生じた背景として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 徳島県公立入試 類似）
- 班田収授法において、女性に与えられる区分田の面積が男性よりも広く設定されており、家計を助けるために女性の登録を増やしたから。
 - 租・庸・調や防人などの重い負担を逃れるため、本来は男性である者を偽って女性として戸籍に登録したから。
 - 律令政府が、墾田永年私財法によって私有地を広げた有力な女性農民を優遇し、戸籍に優先的に記載したから。
 - 度重なる飢饉や戦乱の影響により、体力の乏しい成人男性の死亡率が女性に比べて著しく高かったから。
- 問2 平清盛が政治の実権を握るに至った経緯について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2025年 熊本県公立入試 類似）
- 保元の乱などで上皇と対立した後、白河天皇に従って戦い勝利を収めた後、太政大臣に上り詰めた。
 - 瀬戸内地方で海賊を率いて反乱を起こし、朝廷を圧迫して太政大臣の位を得た。
 - 東北地方の奥州藤原氏を滅ぼして勢力を伸ばし、朝廷から太政大臣に任命された。
 - 関東地方で反乱を起こして自ら新皇と称し、東国の政治の実権を握った。
- 問3 平安時代に発達した国風文化では、漢字を簡略化したり、その一部を用いたりして作られた「かな文字」が広く使われるようになりました。かな文字の使用が文化に与えた影響について、正しい説明はどれですか。（2019年 山口県公立入試 類似）
- キリスト教の布教のために、西洋のアルファベットが貴族の間で流行した
 - 和歌や物語、随筆などを通じて、日本人の心情を細やかに表現できるようになった
 - 武士が戦場での手柄を報告するために、短い記号のような文字が開発された
 - 仏教の経典を正確に書き写すために、インドの文字がそのまま使われるようになった
- 問4 11世紀半ば、摂政・関白として権勢を誇った藤原頼通が、京都の宇治に極楽浄土の様子を再現しようとして建立した、阿弥陀如来を本尊とする代表的な建築物はどれか。（2018年 鳥取県公立入試 類似）
- 鹿苑寺金閣
 - 東大寺大仏殿
 - 平等院鳳凰堂
 - 慈照寺銀閣
- 問5 平安時代中期の11世紀、摂政を務めた藤原頼通によって建立された建築物について、その背景と目的を説明したものとして最も適切なものはどれか。（2022年 鳥根県公立入試 類似）
- 平氏による南都焼討からの復興を願い、東大寺の再建とともに大仏殿の修復を行うことで権力を示そうとした。
 - 末法思想の広がりにより、死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う浄土信仰が流行したため、その世界を地上に再現しようとした。
 - 聖武天皇が仏教の力で国を治めるため、全国に国分寺・国分尼寺を建立し、その総本山として都に巨大な寺院を築いた。
 - 室町幕府の足利義満が、北山文化を象徴する豪華な別荘として、一階を寝殿造、三階を禅宗様として建築させた。
- 問6 国風文化が栄えた平安時代中期、藤原氏などの貴族が居住していた建築様式について説明した文として適切なものはどれですか。この様式は、池のある広い庭園を囲むように建物が配置され、風通しを良くする工夫がなされているのが特徴です。（2021年 岡山県公立入試 類似）
- 書院造
 - 寝殿造
 - 武家造
 - 高床建築
- 問7 池の対岸から望むと左右対称の翼廊を持つ優美な姿が確認でき、当時の浄土信仰を象徴する平等院鳳凰堂が建立された時期は、藤原氏による政治が全盛期を迎えていました。その後、この藤原氏のような摂関家の影響力を排除するために白河天皇がとった行動として、適切な記述を選びなさい。（2024年 愛知県公立入試 類似）
- 天皇の位を譲り上皇となって、自ら政治の決定権を行使し続けた。
 - 京都に六波羅探題を設置して、朝廷の動きを厳しく監視した。
 - 鎌倉に幕府を開き、武士の頂点に立って全国を統治した。
 - 大宝律令を制定し、公地公民の原則に基づいた中央集権体制を確立した。
- 問8 平安時代中期、遣唐使の停止などを背景に、それまでの唐風の文化を日本の風土や好みに合わせて消化・吸収し、貴族を中心に発達した日本独自の文化を何と呼びますか。（2023年 宮城県公立入試 類似）
- 東山文化
 - 弘仁・貞観文化
 - 天平文化
 - 国風文化
- 問9 東北地方の歴史について述べた次の文のうち、当時の状況を正しく説明しているものはどれですか。かつて朝廷軍を打ち破ったこともある蝦夷のリーダーと、その後に派遣された政府側の人物の關係に注目して選びなさい。（2015年 佐賀県公立入試 類似）
- 蝦夷の指導者であった平将門は、朝廷から派遣された坂上田村麻呂に敗北した。
 - 蝦夷の指導者であったアテルイは、朝廷から派遣された源頼朝を北九州で迎え撃った。
 - 蝦夷の指導者であった足利尊氏は、朝廷から派遣されたアテルイによって捕らえられた。
 - 蝦夷の指導者であったアテルイは、朝廷から派遣された坂上田村麻呂に降伏した。
- 問10 10世紀中頃、地方政治の混乱に乗じて、関東地方で自らを「新皇」と称して朝廷に反旗を翻した人物と、同時期に瀬戸内海で海賊を率いて反乱を起こした人物の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2017年 徳島県公立入試 類似）
- 平将門と藤原純友
 - 源頼朝と平清盛
 - 源義家と藤原純友
 - 平清盛と源義家
- 問11 平安時代に発達した国風文化の中で、漢字を日本風に簡略化したり、その一部を抜き出したりすることによって作られた、日本語の音を表記するための文字を何というか。（2023年 熊本県公立入試 類似）
- 万葉仮名
 - 甲骨文字
 - かな文字
 - ハングル
- 問12 摂関政治の全盛期を築いた藤原道長が、自身の栄華を「この世をば 我が世とぞ思う 望月の 欠けたることもなしと思えば」と歌に詠んだ時期の文化や社会の様子について、正しく説明しているものはどれですか。（2018年 埼玉県公立入試 類似）
- 地方の情勢を詳しく記録するため、各地の産物や伝承をまとめた風土記の編纂が全国で進められた。
 - 唐の文化が強く影響を与え、鑑真によって唐招提寺が建立されるなど、仏教による国づくりが進んだ。
 - 武士の精神を重んじる文化が芽生え、東大寺南大門に金剛力士像が造られるなど力強い表現が好まれた。
 - 極楽往生を願う浄土信仰が貴族の間で広まり、平等院鳳凰殿のような華麗な寺院が建立された。
- 問13 平安時代初期に最澄や空海によって広められた仏教が、それまでの奈良時代の仏教（南都六宗）と比較して持っていた特徴として、最も適切なものはどれですか。（2024年 香川県公立入試 類似）
- 政治から離れ、人里離れた山の中の寺院で厳しい修行を行うことを重視した
 - 武士の精神的支柱として、座禅を組むことで悟りを開こうとした
 - 国家の保護を強く受け、都に巨大な大仏や国分寺を建立して国を治めようとした
 - 読み書きができない庶民のために、念仏を唱えるだけで救われると説いた

答え合わせ・解説

問1	答え 2 租・庸・調や防人などの重い負担を逃れるため、本来は男性である者を偽って女性として戸籍に登録したから。	律令制下では、成人男性に対して庸や調といった布や特産物の納入、さらに防人や兵役などの重い労働負担が課せられていました。一方で女性の負担は男性に比べて非常に軽かったため、人々はこれらの課税や兵役から逃れるために、実際には男性である子供を女性として戸籍に記載する「偽籍（ぎせき）」を行いました。10世紀に入るとこの傾向は顕著になり、戸籍が本来の人口統計としての機能を失っていたことを示しています。
問2	答え 1 保元の乱などで上皇と対立した後白河天皇に従って戦い勝利を収めた後、太政大臣に上り詰めた。	平清盛は12世紀半ばの保元の乱などで後白河天皇側について勝利を収め、武士として初めて太政大臣に任じられました。関東地方での反乱（平将門の乱）や瀬戸内地方の反乱（藤原純友の乱）、奥州藤原氏に関する記述は誤りとなります。
問3	答え 2 和歌や物語、随筆などを通じて、日本人の心情を細やかに表現できるようになった	かな文字（ひらがな・カタカナ）の考案と普及により、漢字では表現しにくかった日本固有の感情や機微を文章にすることが可能になりました。これにより、紫式部の『源氏物語』や清少納言の『枕草子』といった優れた文学作品が、主に宮廷の女性たちによって生み出されました。
問4	答え 3 平等院鳳凰堂	藤原氏が最も繁栄した摂関政治の時代に建立されました。当時の貴族たちは、現世での繁栄だけでなく、死後に極楽浄土へ行けることを強く願っており、その理想の世界を視覚的に表現したものがこの建物です。
問5	答え 2 末法思想の広がりにより、死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う浄土信仰が流行したため、その世界を地上に再現しようとした。	藤原氏の権勢が絶頂期にあった平安時代中期、仏教の教えが衰える「末法」の時代が来ると信じられ、人々の間で浄土信仰（極楽往生を願う信仰）が急速に広まりました。藤原頼通は、父・道長から譲り受けた別荘を寺院に改め、阿弥陀如来を本尊として祀ることで、経典に描かれる華麗な極楽浄土の様子を視覚的に表現しました。
問6	答え 2 寝殿造	日本の蒸し暑い夏を快適に過ごすため、壁が少なく開放的な造りになっているのが特徴です。中心となる「寝殿」から左右に廊下が伸び、その先に「対の屋」が配置されるなど、貴族の華やかな生活空間を形成していました。室町時代に広まった書院造と区別することが重要です。
問7	答え 1 天皇の位を譲り上皇となって、自ら政治の決定権を行使し続けた。	平等院鳳凰堂を建立した藤原頼通の時代には摂関政治がピークにありましたが、その後の白河天皇は、自らが上皇となることで摂関家から政治の実権を奪い返しました。これを院政と呼び、平安時代末期まで続く政治形態の転換点となりました。
問8	答え 4 国風文化	894年に菅原道真の建議で遣唐使が停止されると、大陸との公的な交流が途絶えました。これにより、それまで取り入れてきた中国の文化を日本の生活や感情に合わせる動きが進み、かな文字の使用や寝殿造、大和絵といった日本独自の様式が確立されました。
問9	答え 4 蝦夷の指導者であったアテルイは、朝廷から派遣された坂上田村麻呂に降伏した。	東北地方に住んでいた蝦夷の人々は、アテルイという指導者のもとで一時は朝廷軍を撃退するほどの激しい抵抗を見せました。しかし、桓武天皇によって派遣された坂上田村麻呂が軍を進め、現在の岩手県に胆沢城を築くなどして支配を強めると、アテルイは最終的に坂上田村麻呂に降伏しました。
問10	答え 1 平将門と藤原純友	10世紀中頃に東日本と西日本でほぼ同時に発生した承平・天慶の乱についての記述です。関東では平将門が、瀬戸内海では藤原純友が反乱を起こしました。朝廷は自らの軍事力でこれらを鎮圧できず、他の武士の力を借りて鎮圧したため、この事件をきっかけに武士の存在感が急速に高まることとなりました。
問11	答え 3 かな文字	遣唐使の廃止などを背景に、日本の風土や生活に合わせた「国風文化」が生まれました。その中で、それまで使われていた漢字を崩したり、一部を抽出したりして、日本語特有の響きを自由に書き表せる「かな文字」が考案されました。これにより、人々の感情をきめ細やかに表現することが可能になりました。
問12	答え 4 極楽往生を願う浄土信仰が貴族の間で広まり、平等院鳳凰殿のような華麗な寺院が建立された。	藤原道長・頼通の親子が権力を握った時期は、現世での不安から死後に極楽浄土へ行くことを願う「浄土信仰」が流行しました。道長の子である頼通が建立した平等院鳳凰殿は、当時の人々が描いた極楽浄土の姿を建築として具現化したものです。唐招提寺や風土記は奈良時代、東大寺南大門の金剛力士像は鎌倉時代の特徴です。
問13	答え 1 政治から離れ、人里離れた山の中の寺院で厳しい修行を行うことを重視した	奈良時代の仏教が政治と密接に関わり、都にある東大寺などの寺院が権力を持っていたのに対し、平安時代初期の天台宗（最澄）や真言宗（空海）は、比叡山や高野山といった山の中に寺を建て、世俗から離れて修行することを重んじました。念仏による救済は鎌倉新仏教、座禅は鎌倉時代の禅宗の特徴です。

- 問1 白河天皇が始めた政治の仕組みにおいて、天皇が位を譲った後に「上皇」として政治を行う体制を何と呼びますか。その名称と目的の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2023年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 摂関政治 — 天皇の外祖父として、幼い天皇に代わって政治を代行するため | 2. 院政 — 摂関家の影響力を抑え、天皇家の家長として自ら実権を握るため | 3. 公武合体 — 朝廷と幕府の結びつきを強め、国の政治を安定させるため | 4. 執権政治 — 将軍の補佐役として、鎌倉幕府の実権を独占するため |
|--|---------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|
-
- 問2 日本の歴史における仏教寺院の立地について、最澄が建立した天台宗の本山である延暦寺の所在地を説明したものととして正しいものを選びなさい。 (2021年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
| 1. 関東地方の広大な平野の中に位置し、交通の要衝となっている | 2. 東北地方の北部に位置し、当時の政治の中心地から遠く離れている | 3. 近畿地方の中央寄りに位置し、滋賀県と京都府の境界付近にある | 4. 瀬戸内海から九州方面へ向かう海沿いの地域に位置している |
|---------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
-
- 問3 平安時代の出来事である「空海による金剛峯寺の建立」「藤原純友の乱」「白河上皇による院政の開始」「平治の乱における源義朝の敗北」について、これらを発生した時期の古いものから順に正しく並べたものはどれですか。 (2020年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 空海による金剛峯寺の建立 → 藤原純友の乱 → 白河上皇による院政の開始 → 平治の乱における源義朝の敗北 | 2. 白河上皇による院政の開始 → 空海による金剛峯寺の建立 → 藤原純友の乱 → 平治の乱における源義朝の敗北 | 3. 空海による金剛峯寺の建立 → 白河上皇による院政の開始 → 藤原純友の乱 → 平治の乱における源義朝の敗北 | 4. 藤原純友の乱 → 空海による金剛峯寺の建立 → 白河上皇による院政の開始 → 平治の乱における源義朝の敗北 |
|--|--|--|--|
-
- 問4 藤原氏が政治を行う上で重要な地位となった「摂政」と「関白」の役割の違いについて、正しく説明しているものはどれですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 摂政は京都の朝廷内で貴族を監視し、関白は地方の国司を監督して税の徴収を直接管理した。 | 2. 摂政は天皇が幼少であったり女性であったりする場合に代わって政務を行い、関白は成人した天皇を補佐して政務を執り行った。 | 3. 摂政は天皇の父が引退した後に就く役職であり、関白は天皇の兄が就く役職であった。 | 4. 摂政は主に儀式や宗教的な行事を取り仕切り、関白は軍事指揮官として全国の武士を統率した。 |
|---|---|--|--|
-
- 問5 平安時代に発達した国風文化の中で、漢字を日本風に簡略化したり、その一部を抜き出したりすることによって作られた、日本語の音を表記するための文字を何というか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. ハングル | 2. 甲骨文字 | 3. 万葉仮名 | 4. かな文字 |
|---------|---------|---------|---------|
-
- 問6 平安時代、遣唐使が廃止されるなど対外関係が変化した時期と重なるように、地方では「国司」による統治のあり方が問題となりました。国司が地方政治の混乱を招いた背景やその実態について述べた文として、正しいものを選んでください。 (2024年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 遣唐使の廃止によって外国との貿易が途絶えたため、国司の主な収入源がなくなった。 | 2. 朝廷が地方豪族を国司に任命する方針に切り替えたため、各地で土地争いが激化した。 | 3. 国司が土地の国有化を厳格に進めたことで、自墾地系荘園を所有する農民が反発した。 | 4. 朝廷が徴税の権限を国司に委ねたため、一部の国司が私欲のために過酷な取り立てを行った。 |
|--|--|--|---|
-
- 問7 12世紀後半に武士として初めて太政大臣となり、政治の実権を握った人物が行った経済政策として最も適切なものはどれですか。この人物は、現在の神戸市にあたる場所に港を整備したことで知られています。 (2026年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 朱印状を発行して東南アジア諸国との貿易を奨励した。 | 2. 大輪田泊を修築し、宋との貿易を積極的に進めて富を蓄えた。 | 3. 勘合を用いて明との貿易を行い、倭寇の取り締まりを強化した。 | 4. 堺や博多の商人に特権を与え、座を廃止して自由な取引を認めた。 |
|------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|
-
- 問8 平安時代中期、藤原頼通が宇治に平等院鳳凰堂を造営した時期は、藤原氏が天皇の摂政や関白として実権を握る摂関政治が安定していました。しかしその後、平安時代末期になると、天皇が位を退いた後も「上皇」となって政治の実権を握り続けるという、摂関政治とは異なる統治形態が現れました。この統治形態を何といいますか。 (2018年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|---------|---------|
| 1. 院政 | 2. 親政 | 3. 武家政治 | 4. 執権政治 |
|-------|-------|---------|---------|
-
- 問9 平安時代において、藤原氏が行った摂関政治や平清盛による政治に共通する、権力を掌握するための手法として最も適切なものはどれですか。 (2024年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 自分の娘を天皇のきさきとして送り込み、その間に生まれた子が天皇になった際に、外祖父として政治の実権を握る。 | 2. 仏教の力を利用して天皇の権威を否定し、有力な寺院と結びつくことで、僧侶を中心とした新しい政治体制を築く。 | 3. 日宋貿易を独占して得た経済力を背景に、地方の武士団を組織して、朝廷から独立した新しい政府を樹立する。 | 4. 武力によって朝廷を制圧し、天皇を廃して自分自身が新しい天皇として即位することで、独裁的な政治を行う。 |
|--|---|---|---|
-
- 問10 9世紀末に遣唐使が停止された後、日本の風土や生活に合った日本独自の文化である国風文化が栄えました。この時代に漢字を変形させて作られ、『源氏物語』などの文学作品の執筆にも用いられた文字は何ですか。 (2023年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 甲骨文字 | 2. 万葉仮名 | 3. かな文字 | 4. 楔形文字 |
|---------|---------|---------|---------|
-
- 問11 平安時代中期、藤原道長・頼通の親子が約50年間にわたって実権を握った「摂関政治」の仕組みについて説明した文として、最も適切なものを次のの中から選びなさい。 (2022年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 天皇が位を退いて上皇となった後、院庁という役所を開いて、天皇に代わって直接政治を行う体制を整えた。 | 2. 自分の娘を天皇の後（きさき）とし、その間に生まれた子を次の天皇に立てることで、天皇の外祖父（母方の祖父）として勢力をふるった。 | 3. 唐の制度にならって律令を整備し、公地公民の原則に基づき、班田収授法によって全国の土地と人民を直接支配した。 | 4. 地方の武士団を組織して軍事力を背景に朝廷を圧倒し、六波羅探題などの機関を置いて政治の主導権を握った。 |
|--|--|--|---|
-
- 問12 平安時代末期の東北地方における政治情勢と奥州藤原氏の関わりについて述べた文として、正しいものはどれか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 足利氏が源氏の血筋を主張して東北地方の武士をまとめ、平泉を拠点に幕府を開いた。 | 2. 北条氏が執権として実権を握り、平泉に東北地方を統括するための政庁を設置して支配を広げた。 | 3. 藤原清衡が平泉を拠点に陸奥国の支配を確立し、金や馬などの特産品を通じて独自の勢力を築いた。 | 4. 平氏が日宋貿易の拠点を東北に移し、平泉を国際的な貿易港として整備することで富を蓄えた。 |
|--|---|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 院政 ― 摂関家の影響力を抑え、天皇家の家長として自ら実権を握るため	白河天皇は、幼い皇子を天皇に据えつつ、自らは退位して自由な立場の上皇（院）となり、独自の役所を設けて政治を動かしました。これは、藤原氏が摂政や関白として政治に介入する余地を奪い、天皇の父や祖父が政治の主導権を取り戻すことを目的としていました。
問2	答え 3 近畿地方の中央寄りに位置し、滋賀県と京都府の境界付近にある	延暦寺が置かれた比叡山は、広域的な地域区分では近畿地方に該当します。滋賀県と京都府の県境付近という、当時の都であった平安京から見て北東（鬼門）の方角に位置していたことが、この地に建立された歴史的な要因の一つです。
問3	答え 1 空海による金剛峯寺の建立 → 藤原純友の乱 → 白河上皇による院政の開始 → 平治の乱における源義朝の敗北	平安時代初期の9世紀初め、嵯峨天皇の時代に空海が真言宗を開き、高野山に金剛峯寺を建立しました。その後、10世紀半ばの平安中期には、地方政治の乱れを背景に瀬戸内海で藤原純友の乱が起きました。11世紀末になると、白河上皇が摂関政治を抑えるために院政を開始し、その権力争いの中で武士が中央政治に進出します。そして12世紀半ばの1159年、平治の乱で源義朝が平清盛に敗れたことで、平氏の権力が決定的なものとなりました。
問4	答え 2 摂政は天皇が幼少であったり女性であったりする場合に代わって政務を行い、関白は成人した天皇を補佐して政務を執り行った。	藤原氏は、天皇の成長段階に合わせて役職を使い分けました。天皇がまだ幼く、自身で判断ができない時期には「摂政」として代行し、天皇が成人してからも「関白」として常に天皇のそばで報告を受け、実質的な決定権を握り続けました。これらを合わせて「摂関」と呼びます。
問5	答え 4 かな文字	遣唐使の廃止などを背景に、日本の風土や生活に合わせた「国風文化」が生まれました。その中で、それまで使われていた漢字を崩したり、一部を抽出したりして、日本語特有の響きを自由に書き表せる「かな文字」が考案されました。これにより、人々の感情をきめ細やかに表現することが可能になりました。
問6	答え 4 朝廷が徴税の権限を国司に委ねたため、一部の国司が私欲のために過酷な取り立てを行った。	九世紀後半から十世紀にかけて、政府は戸籍に基づいた従来の徴税が立ち行かなくなったため、国司に対して「徴税の完遂」を条件に大きな権限を与えました。これを利用した国司は、規定以上の税を農民から徴収して蓄財に励むようになり、これに苦しんだ有力農民（田堵）たちが国司の解任を求めて朝廷に訴えるなどの事態が発生しました。この混乱が、自衛手段としての武力の保持、すなわち武士団の形成を促すこととなります。
問7	答え 2 大輪田泊を修築し、宋との貿易を積極的に進めて富を蓄えた。	平清盛は、武士として初めて政権の頂点に立つと、経済基盤を固めるために日宋貿易を推進しました。そのために、現在の神戸市にあたる大輪田泊を大規模に修築し、宋の大型船が停泊できるようにして、宋銭や陶磁器などの輸入を行いました。
問8	答え 1 院政	藤原氏が娘を天皇のきさきにして、生まれた子を天皇に立てることで外戚（母方の親戚）として権力を振るったのが摂関政治です。これに対し、白河天皇が位を譲って上皇となった後も、自身の独自の役所（院庁）を置いて政治を主導したのが院政の始まりです。これにより、藤原氏の影響力を抑え、皇室が主導権を取り戻そうとしました。
問9	答え 1 自分の娘を天皇のきさきとして送り込み、その間に生まれた子が天皇になった際に、外祖父として政治の実権を握る。	藤原氏や平清盛は、天皇との血縁関係を結ぶことで権力を維持しました。藤原道長は娘の彰子を一条天皇のきさきとし、その子が後一条天皇として即位することで外祖父（母方の祖父）となりました。同様に、平清盛も娘の徳子を高倉天皇に入内させ、その間に生まれた安徳天皇を即位させています。このように、天皇の母方の親戚である「外戚」という立場を利用して、政治的な主導権を確保する手法が取られました。
問10	答え 3 かな文字	平安時代には、遣唐使の停止などを背景に日本独自の国風文化が栄えました。この文化の中で、漢字を変形して作られた「かな文字」が普及し、女性を中心とする文学作品などで盛んに使用されました。
問11	答え 2 自分の娘を天皇の後（きさき）とし、その間に生まれた子を次の天皇に立てることで、天皇の外祖父（母方の祖父）として勢力をふるった。	摂関政治は、藤原氏が天皇の「外戚（母方の親戚）」となることで権力を維持した政治形態です。道長などは娘を天皇に嫁がせ、生まれた皇子を天皇に即位させることで、その幼少期に摂政として、成人後には関白として実権を握り続けました。選択肢にある上皇が政治を行うのは「院政」、武家による支配は「武家政治」であり、摂関政治の特徴とは異なります。
問12	答え 3 藤原清衡が平泉を拠点に陸奥国の支配を確立し、金や馬などの特産品を通じて独自の勢力を築いた。	藤原清衡は、前九年の役・後三年の役という大きな戦乱を経て、陸奥国（現在の東北地方の大部分）における支配権を確立しました。平泉は北上川の舟運を利用できる交通の要所であり、この地を拠点に金や名馬を中央の朝廷や平氏に送ることで、政治的な地位と強大な経済力を維持しました。これにより、三代にわたって東北地方に独自の平和な時代をもたらしました。

- 問1 9世紀初め、遣唐使とともに唐へ渡って仏教を学び、帰国後に比叡山に延暦寺を建てて天台宗を広めた僧侶は誰ですか。 (2018年 埼玉県公立入試 類似)
1. 最澄 2. 鑑真 3. 行基 4. 空海
- 問2 平安時代の文化的な特徴をまとめた資料において、貴族が中心となって日本の風土に合わせた「国風文化」が生み出されたことが示されています。この時期に貴族が住んだ、池のある庭園に面した開放的な建築様式を何といいますか。 (2016年 京都府公立入試 類似)
1. 武家造 2. 書院造 3. 寝殿造 4. 高床倉庫
- 問3 歴史の年表において、藤原氏が摂政や関白として政治の実権を握り、各地の荘園を基盤に勢力を拡大していた平安時代中期の項目があります。この時期に、それまでの中国文化の影響を土台としながらも、日本の気候や日本人の感性に合わせた独自の工夫が加えられて発展した文化を何といいますか。 (2021年 岡山県公立入試 類似)
1. 天平文化 2. 国風文化 3. 東山文化 4. 鎌倉文化
- 問4 平安時代の建築や彫刻は、当時の信仰と深く結びついていました。当時の代表的な建造物の特徴を説明した資料において、内部に阿弥陀如来像を安置し、壁画などで極楽浄土の様子を再現しようとした藤原氏ゆかりの建物は何ですか。 (2019年 静岡県公立入試 類似)
1. 法隆寺五重塔 2. 平等院鳳凰堂 3. 東大寺大仏殿 4. 鹿苑寺金閣
- 問5 奥州藤原氏が拠点とした平泉に建立され、建物全体が金箔で覆われ、内部の祭壇や仏像が豪華に装飾されている、当時の東北地方の経済力と高い文化水準を象徴する建物の名称を選びなさい。 (2024年 静岡県公立入試 類似)
1. 厳島神社 2. 中尊寺金色堂 3. 鹿苑寺金閣 4. 平等院鳳凰堂
- 問6 国風文化の時期には、漢字を簡略化したり一部を利用したりすることで、日本語の音を自由に書き表せる文字が普及しました。この文字が使われたことで、紫式部による『源氏物語』などの優れた文学作品が生まれたほか、和歌が盛んに詠まれるようになりました。この文字の名称を答えなさい。 (2019年 大分県公立入試 類似)
1. かな文字 2. 象形文字 3. 楔形文字 4. 梵字
- 問7 摂関政治において、天皇が幼い時に政治を代行する役職と、天皇が成人した後にその補佐をしながら政治を司る役職の組み合わせとして正しいものを、次の中から選びなさい。 (2022年 愛媛県公立入試 類似)
1. 執権・連署 2. 内大臣・右大臣 3. 太政大臣・征夷大將軍 4. 摂政・関白
- 問8 平安時代中期、摂政・関白として権勢を振るった藤原頼通は、京都の宇治に平等院鳳凰堂を建立しました。池の中央に配された阿弥陀堂が、翼を広げた鳥のような優美な形状をしているこの建築は、当時の人々のどのような願いを現世に表現しようとしたものですか。 (2023年 富山県公立入試 類似)
1. 武士の勢力に対抗するため、将軍としての政治的な権威を象徴するため 2. 禅宗の教えに基づき、座禅などの厳しい修行によって悟りを開くため 3. 大陸との貿易による利益を背景に、最新の建築様式を貴族たちに誇示するため 4. 阿弥陀仏の住む極楽浄土を現世に再現し、死後の救済を願うため
- 問9 平安時代に紫式部が『源氏物語』を執筆した際の時代背景について述べたものとして、最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 島根県公立入試 類似)
1. 大陸との交流が盛んになり、最新の唐の文学理論をそのまま取り入れることが奨励された。 2. 武士が政治の実権を握り、素朴で力強い文化が好まれたため、戦の様子を伝える文学が主流となった。 3. 遣唐使の廃止にともない、日本の風土や生活に合わせた国風文化が発達し、かな文字による表現が広まった。 4. 仏教を広めるために幕府が平易な文字の使用を命じ、庶民の間で娯楽としての読書が急速に普及した。
- 問10 『枕草子』が執筆された当時の文化的な背景について述べた、次の説明文の空欄にあてはまる語句の組み合わせとして最もふさわしいものを選びなさい。「この時代には、（ X ）が使われるようになったことで、女性による優れた文学作品が多く生まれた。清少納言が書いた『枕草子』は、（ Y ）という文学ジャンルの代表作である。」 (2018年 茨城県公立入試 類似)
1. X：漢字、Y：日記 2. X：かな文字、Y：随筆 3. X：漢字、Y：物語 4. X：かな文字、Y：和歌
- 問11 外交史の年表において、九世紀後半に遣唐使が廃止された時期と同じころ、日本の地方政治では大きな混乱が見られました。この時期の地方政治の様子として最も適切な説明を、次のうちから選んでください。 (2024年 富山県公立入試 類似)
1. 大宰府が新たに設置され、海外からの侵攻に備えた軍事的な整備が急速に進んだ。 2. 二毛作が全国的に普及したことで農村が豊かになり、国司の徴税業務が軽減された。 3. 地方豪族の力を抑えるために、国司による監督体制がそれまで以上に強化された。 4. 中央から派遣された国司が、徴収した税を私物化するなどして地方政治が乱れた。
- 問12 桓武天皇の時代に、東北地方に居住し朝廷の支配に抵抗していた「蝦夷」と呼ばれる人々を服属させるため、軍の指揮官として任命された人物は誰ですか。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
1. 藤原清衡 2. 坂上田村麻呂 3. 足利尊氏 4. 源義経
- 問13 784年に都を長岡京に移したものの、その後わずか10年ほどで再び遷都が行われました。794年に山城国に新しく造営され、それから約400年間にわたる時代の中心となった都と、その遷都を断行した天皇の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 長野県公立入試 類似)
1. 平安京と聖武天皇 2. 平安京と桓武天皇 3. 平城京と桓武天皇 4. 平城京と聖武天皇
- 問14 平安時代中期の「国風文化」において、日本の気候や風土に合わせて発展した建築様式の説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2025年 滋賀県公立入試 類似)
1. 急な傾斜の屋根を持ち、屋根裏で養蚕を行うことができる山間部のつくり 2. 中心の建物から廊下を伸ばし、庭園の池を見渡せる開放的なつくり 3. 畳を敷き詰め、障子やふすまで部屋を細かく仕切った実用的なつくり 4. 外敵の侵入を防ぐために石垣や堀をめぐらせ、壁を厚くした堅牢なつくり

答え合わせ・解説

問1	答え 1 最澄	平安時代初期、桓武天皇の支持を受けた最澄は、唐での修行を終えて帰国し、比叡山（滋賀県・京都府）を拠点に天台宗を日本に伝えました。同時期に活躍した空海は高野山に金剛峯寺を建てて真言宗を広めており、入試ではこの二人の活動場所と宗派の組み合わせが頻出となります。
問2	答え 3 寝殿造	遣唐使の廃止などを背景に、日本の風土や貴族の生活感覚に合わせた国風文化が発達しました。この時期の貴族の邸宅は、広い敷地に池のある庭園を設け、各建物で廊下で結ばれた開放的な構造を持っていました。これは、日本の夏の高温多湿な気候に適応した造りでもあります。
問3	答え 2 国風文化	894年に遣唐使が廃止されたことで、中国（唐）の文化をそのまま模倣するのではなく、日本の風土や生活に合わせて消化・吸収する動きが強まりました。藤原氏による摂関政治が行われた時期に、貴族を中心に洗練されたこの独自の文化が最盛期を迎えました。
問4	答え 2 平等院鳳凰堂	藤原頼通が宇治に建立した平等院鳳凰堂は、当時の貴族が憧れた極楽浄土を地上に再現しようとした建築の代表例です。堂内には定朝が制作した阿弥陀如来像が安置されており、周囲の池や庭園と合わせて、死後の世界である浄土を視覚的に表現しています。
問5	答え 2 中尊寺金色堂	藤原清衡が、相次ぐ戦乱で亡くなった人々を敵味方の区別なく供養し、仏の教えに基づいた平和な理想郷を建設しようとして建立しました。当時、東北地方で豊富に産出された金（産金）や、海外との交易で得られた螺鈿（らでん）細工などが贅沢に使われており、北方の王者にふさわしい富を示しています。
問6	答え 1 かな文字	漢字を日本風に崩したり簡略化したりして生まれた「かな文字（ひらがな・カタカナ）」の普及は、国風文化の最大の特徴の一つです。これにより、漢字だけでは表現しきれなかった日本人の繊細な感情や、日常の出来事を文章に綴ることが可能になり、女流文学や和歌が大きく発展しました。
問7	答え 4 摂政・関白	藤原道長らによる摂関政治の名称は、天皇の代行を務める「摂政」と、成人後の補佐役である「関白」の二つの役職に由来します。道長は、平安時代中期にこれらを通じて権勢を誇り、有名な「この世をば…」の歌を詠むほどの全盛期を築きました。なお、武士の代表である征夷大将軍や、鎌倉幕府の執権などとは、任命される背景も権力の根拠も異なります。
問8	答え 4 阿弥陀仏の住む極楽浄土を現世に再現し、死後の救済を願うため	平安時代後期には、仏教の教えが衰える「末法思想」が広まり、人々の間で死後に救済を求める浄土信仰が流行しました。藤原頼通は、この信仰に基づいて阿弥陀如来を本尊とする平等院鳳凰堂を建立しました。庭園の池の中に建てられたその姿は、阿弥陀仏が住む理想郷である極楽浄土を、地上に視覚的に再現することを目指したものです。選択肢にある禅宗は鎌倉時代に広まったものであり、貿易利益や将軍の権威といった要素もこの建築の本来の目的とは異なります。
問9	答え 3 遣唐使の廃止にともない、日本の風土や生活に合わせた国風文化が発達し、かな文字による表現が広まった。	894年に菅原道真の建議によって遣唐使が廃止されると、中国の影響を消化しつつ日本の感性に合わせた「国風文化」が成立しました。それまで公的な文書は漢字（真名）で書かれていましたが、日常的な感情や細やかな情景を表現するのに適した「かな文字」が使われるようになり、紫式部らによる物語文学の開花につながりました。
問10	答え 2 X：かな文字、Y：随筆	平安時代には、漢字を簡略化した「かな文字（平仮名）」が普及し、漢字を主に使用していた男性に対して、女性が自分の感情や生活を豊かに表現できるようになりました。清少納言は一条天皇の中宮定子に仕え、見聞したことや感じたことを自由な形式で書き留める「随筆」という形式で『枕草子』を著しました。
問11	答え 4 中央から派遣された国司が、徴収した税を私物化するなどして地方政治が乱れた。	平安時代中期、律令制による人別支配が困難になると、朝廷は国司（受領）に一定の税の納入を請け負わせるようになりました。その結果、任地で徴収した税の一部を自分の収入とする国司が現れ、私利私欲をむさぼる行為が横行しました。これにより地方政治は混乱し、後の武士の台頭へとつながる社会変化の要因となりました。なお、大宰府の設置は飛鳥時代であり、二毛作の普及は主に鎌倉時代以降のことです。
問12	答え 2 坂上田村麻呂	桓武天皇は平安京への遷都を進める一方で、律令国家の支配を強化するために東北地方への遠征を積極的に行いました。その際、征夷大将軍として抜擢されたのが坂上田村麻呂です。彼は現在の岩手県にある胆沢城を拠点に蝦夷の指導者であったアテルイを降伏させるなど、朝廷の勢力範囲を北へと大きく広げる役割を果たしました。
問13	答え 2 平安京と桓武天皇	奈良の平城京で強大になった仏教勢力から政治を切り離し、律令政治を立て直すために、桓武天皇は784年に長岡京へ、そして794年に平安京へと都を移しました。これが平安時代の始まりです。
問14	答え 2 中心の建物から廊下を伸ばし、庭園の池を見渡せる開放的なつくり	遣唐使の廃止によって日本の独自の文化である「国風文化」が発達しました。寝殿造は、壁が少なく御簾（みす）や屏風で空間を仕切る開放的な構造が特徴です。これは、日本の夏の蒸し暑さをしのぐための工夫でもありました。他の選択肢にある「畳を敷き詰め、障子やふすまで仕切る」形式は、のちの書院造の特徴です。

- 問1 平安時代中期、社会に不安が広がる中で「阿弥陀如来を信じれば死後に極楽浄土へ行ける」という教えが流行しました。この思想に基づき、藤原頼通が宇治に建立した、中央の堂の左右に翼を広げたような回廊を持つ建築物の名称と、その背景にある仏教の教えの組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2025年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 1. 平等院鳳凰堂 — 禅宗 | 2. 東大寺南大門 — 浄土教 | 3. 中尊寺金色堂 — 浄土教 | 4. 平等院鳳凰堂 — 浄土教 |
|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
- 問2 11世紀半ば、摂政を務めた藤原頼通が宇治に建立した建築物を選びなさい。この建物は、当時の貴族の間に広まった、死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う信仰に基づき、阿弥陀如来像が安置されていることで知られています。 (2022年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 法隆寺五重塔 | 2. 東大寺南大門 | 3. 中尊寺金色堂 | 4. 平等院鳳凰堂 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
- 問3 8世紀初めに日本で発行された和同開珎などの銭貨が次第に使われなくなった後、平安時代末期に平清盛が大輪田泊を整備して行った日宋貿易において、日本国内の貨幣経済に大きな影響を与えた輸入品は何ですか。 (2020年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-------|---------|-------|
| 1. 宋銭（銅銭） | 2. 鉄砲 | 3. 高麗青磁 | 4. 生糸 |
|-----------|-------|---------|-------|
- 問4 藤原道長が詠んだ「この世をば わが世とぞ思う 望月の 欠けたることも無しと思えば」という和歌について、道長がこの歌の中で自分の権力の状態を例えた言葉として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|-------|----------|
| 1. 春の訪れ | 2. 沈まぬ太陽 | 3. 満月 | 4. 穏やかな波 |
|---------|----------|-------|----------|
- 問5 飛鳥時代から平安時代にかけての日本と中国の王朝との外交に関する出来事について、時期の古いものから順に正しく並んでいるものはどれですか。 (2015年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 小野妹子の派遣 → 白村江の戦い → 最澄・空海の入唐 → 遣唐使の停止 | 2. 白村江の戦い → 小野妹子の派遣 → 遣唐使の停止 → 最澄・空海の入唐 | 3. 最澄・空海の入唐 → 小野妹子の派遣 → 白村江の戦い → 遣唐使の停止 | 4. 小野妹子の派遣 → 最澄・空海の入唐 → 白村江の戦い → 遣唐使の停止 |
|---|---|---|---|
- 問6 784年に都を長岡京に移したものの、その後わずか10年ほどで再び遷都が行われました。794年に山城国に新しく造営され、それから約400年間にわたる時代の中心となった都と、その遷都を断行した天皇の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. 平城京と桓武天皇 | 2. 平城京と聖武天皇 | 3. 平安京と桓武天皇 | 4. 平安京と聖武天皇 |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
- 問7 894年に遣唐使が停止されてから、15世紀前半に琉球王国が成立するまでの期間を記した年表において、平安時代中期から後期にかけて見られる「国風文化」の特色を説明したものとして、最も適切なものを選んでください。 (2021年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 禅宗の影響を受けた武士たちの間で、水墨画や書院造、茶の湯など、簡素で落ち着いた趣を尊ぶ文化が広まった。 | 2. 漢字を簡略化した「かな文字」が使われ、女性による優れた物語や随筆などの文学作品が多く生まれた。 | 3. 経済力をつけた有力な町人が担い手となり、人形浄瑠璃や歌舞伎、浮世絵などの華やかな文化が上方で花開いた。 | 4. 聖武天皇の時代に、仏教の力で国家を守ろうとして東大寺や国分寺が建立され、国際色豊かな文化が栄えた。 |
|--|--|--|--|
- 問8 遣唐使とともに唐へ渡った僧たちが、帰国後に新しい仏教を広めた動きについて述べた文として正しいものはどれですか。 (2020年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------|----------------------------|---------------------------|----------------------------|
| 1. 最澄は比叡山に金剛峯寺を建て、天台宗を広めた。 | 2. 空海は比叡山に金剛峯寺を建て、天台宗を広めた。 | 3. 最澄は高野山に延暦寺を建て、真言宗を広めた。 | 4. 空海は高野山に金剛峯寺を建て、真言宗を広めた。 |
|----------------------------|----------------------------|---------------------------|----------------------------|
- 問9 平安時代中期、遣唐使の廃止などを背景に、それまでの中国（唐）の影響から脱して、日本の風土や生活、日本人の感情に合った文化が生まれました。この文化を何と呼びますか。 (2019年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 飛鳥文化 | 2. 元禄文化 | 3. 国風文化 | 4. 天平文化 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問10 平安時代、藤原道長などの藤原北家が政治の実権を握るために用いた手法について、その内容を正しく説明しているものはどれですか。 (2025年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 地方の武士団を武力で圧倒し、その軍事力を背景に天皇から政治全般の委任を受けた。 | 2. 自分の娘を天皇と結婚させ、その間に生まれた子を次の天皇に即位させることで、天皇の祖父として実権を握った。 | 3. 仏教の教えを政治に取り入れるため、自らが出家して上皇となり、天皇に代わって政治を行う仕組みを整えた。 | 4. 海外との貿易を独占して莫大な富を蓄え、その経済力によって貴族たちの支持を集めて権力を維持した。 |
|--|---|---|--|
- 問11 平安時代の政治において、藤原氏による摂関政治が全盛期を迎えていた時期の社会背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。この時期には、1053年に建立された平等院鳳凰堂に代表されるような、極楽浄土を願う信仰も広まりました。 (2019年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|-------------------------------------|---|---|
| 1. 禅宗の影響を強く受け、水墨画や茶の湯などの簡素な美しさを尊ぶ文化が形成された。 | 2. 武士が政治の実権を握り、素朴で力強い文化が東国を中心に広まった。 | 3. 遣唐使を通じて唐の進んだ制度や仏教文化を積極的に取り入れ、国際色豊かな文化が形成された。 | 4. 大陸文化の影響を消化し、かな文字による文学や日本独自の美意識が反映された文化が発展した。 |
|--|-------------------------------------|---|---|
- 問12 平安時代において、藤原氏が行った摂関政治や平清盛による政治に共通する、権力を掌握するための手法として最も適切なものはどれですか。 (2024年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 仏教の力を利用して天皇の権威を否定し、有力な寺院と結びつくことで、僧侶を中心とした新しい政治体制を築く。 | 2. 自分の娘を天皇のきさきとして送り込み、その間に生まれた子が天皇になった際に、外祖父として政治の実権を握る。 | 3. 武力によって朝廷を制圧し、天皇を廃して自分自身が新しい天皇として即位することで、独裁的な政治を行う。 | 4. 日宋貿易を独占して得た経済力を背景に、地方の武士団を組織して、朝廷から独立した新しい政府を樹立する。 |
|---|--|---|---|
- 問13 平安時代初期の仏教の動向やその背景について説明した文として、適切なものはどれか。 (2018年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 最澄は、社会不安を取り除くため、浄土信仰に基づいて念仏を唱える教えを民衆に広めた。 | 2. 最澄は、唐から招かれた高僧として、日本に正しい僧侶のルールである戒律を伝えた。 | 3. 最澄は、奈良の寺院勢力の協力を得て、東大寺で新しい戒律を広める活動に従事した。 | 4. 最澄は、比叡山に延暦寺を建立し、厳しい修行を通じて国家の安泰を祈る天台宗を広めた。 |
|--|--|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 平等院鳳凰堂 ― 浄土教	藤原氏が摂関政治で権勢を誇った時代、末法思想（仏教の教えが衰えるという考え）の影響で、死後の救済を求める浄土教が貴族から民衆まで広く浸透しました。藤原頼通は、この極楽浄土の様子を地上に再現しようと、池を中心とした浄土庭園を備える平等院鳳凰堂を京都の宇治に建立しました。選択肢にある中尊寺金色堂は奥州藤原氏によるもの、東大寺南大門は鎌倉時代の建築です。
問2	答え 4 平等院鳳凰堂	藤原氏の全盛期を築いた藤原道長の子、頼通が宇治の別荘を寺に改めたものです。当時の社会では、仏教の教えが衰える「末法」の世が到来したと考えられており、極楽浄土の様子を地上に再現しようとしてこの豪華な阿弥陀堂が建てられました。
問3	答え 1 宋銭（銅銭）	平清盛が推進した日宋貿易では、日本から金や木材、水銀などが輸出される一方で、宋からは大量の宋銭（銅銭）が輸入されました。当時、日本では独自の貨幣製造が途絶えていましたが、この輸入された宋銭が国内で流通したことにより、日本は再び本格的な貨幣経済の時代へと入っていくことになりました。
問4	答え 3 満月	この歌にある「望月」とは満月のことを指しています。道長は、三人の娘がそれぞれ天皇の後（中宮）となった祝宴の席で、自分の繁栄が一点の欠けもない満月のように完璧であることを誇り、この歌を詠みました。当時の藤原氏が極めて強い権力を持っていたことを象徴するエピソードとして知られています。
問5	答え 1 小野妹子の派遣 → 白村江の戦い → 最澄・空海の入唐 → 遣唐使の停止	7世紀初頭の飛鳥時代、聖徳太子によって小野妹子が遣隋使として中国の隋へ派遣されました。その後、663年には百済の再興を助けるために朝鮮半島へ出兵した白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗北しました。平安時代に入ると、804年に最澄や空海が遣唐使とともに唐に渡り、新しい仏教を日本に伝えました。そして894年、菅原道真の提案により遣唐使が停止されることとなりました。
問6	答え 3 平安京と桓武天皇	奈良の平城京で強大になった仏教勢力から政治を切り離し、律令政治を立て直すために、桓武天皇は784年に長岡京へ、そして794年に平安京へと都を移しました。これが平安時代の始まりです。
問7	答え 2 漢字を簡略化した「かな文字」が使われ、女性による優れた物語や随筆などの文学作品が多く生まれた。	国風文化の最大の特徴は「かな文字」の発明です。これによって、それまでの漢文では表現しきれなかった日本人の微妙な感情を表現できるようになり、紫式部の『源氏物語』や清少納言の『枕草子』といった、日本文学を代表する作品が誕生しました。
問8	答え 4 空海は高野山に金剛峯寺を建て、真言宗を広めた。	平安時代初期の新しい仏教（密教）において、空海は「高野山・金剛峯寺・真言宗」、最澄は「比叡山・延暦寺・天台宗」をそれぞれ拠点としました。山の名称と寺院名、宗派名の組み合わせを正しく理解することが重要です。
問9	答え 3 国風文化	894年に菅原道真の建議によって遣唐使が停止されたことで、中国との公的な交流が途絶えました。これをきっかけに、それまでの唐の影響を強く受けた文化から、日本独自の感性を反映した文化へと発展しました。
問10	答え 2 自分の娘を天皇と結婚させ、その間に生まれた子を次の天皇に即位させることで、天皇の祖父として実権を握った。	藤原氏は、自分の娘を天皇の後（きさき）として送り込み、その間に生まれた皇子を次の天皇に立てる「外戚（がいせき）」関係を築くことで権力を安定させました。天皇の母方の祖父という立場を利用し、天皇が幼いときには「摂政」、成人してからは「関白」として政治の主導権を握る「摂関政治」を確立しました。
問11	答え 4 大陸文化の影響を消化し、かな文字による文学や日本独自の美意識が反映された文化が発展した。	摂関政治の全盛期は国風文化の円熟期にあたります。この時期、紫式部による『源氏物語』や清少納言による『枕草子』といった、かな文字を用いた文学作品が誕生しました。また、建築面では阿弥陀如来を祀る平等院鳳凰堂が建立されるなど、日本の風土に根ざした貴族文化が花開きました。
問12	答え 2 自分の娘を天皇のきさきとして送り込み、その間に生まれた子が天皇になった際に、外祖父として政治の実権を握る。	藤原氏や平清盛は、天皇との血縁関係を結ぶことで権力を維持しました。藤原道長は娘の彰子を一条天皇のきさきとし、その子が後一条天皇として即位することで外祖父（母方の祖父）となりました。同様に、平清盛も娘の徳子を高倉天皇に入内させ、その間に生まれた安徳天皇を即位させています。このように、天皇の母方の親戚である「外戚」という立場を利用して、政治的な主導権を確保する手法が取られました。
問13	答え 4 最澄は、比叡山に延暦寺を建立し、厳しい修行を通じて国家の安泰を祈る天台宗を広めた。	桓武天皇が平安京へ遷都した理由の一つは、奈良の仏教勢力が政治に強く介入するのを避けるためでした。これに伴い、都から離れた山中で修行を行う最澄（天台宗）や空海（真言宗）の新しい仏教が、貴族だけでなく国家からも重んじられるようになりました。他の選択肢にある「戒律を伝えた」のは鑑真、「念仏を広めた」のは後の鎌倉時代の僧侶たちの特徴です。